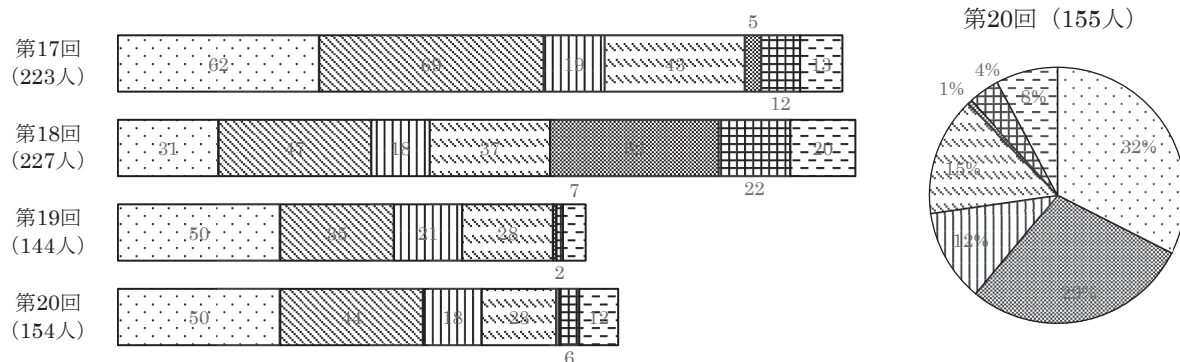


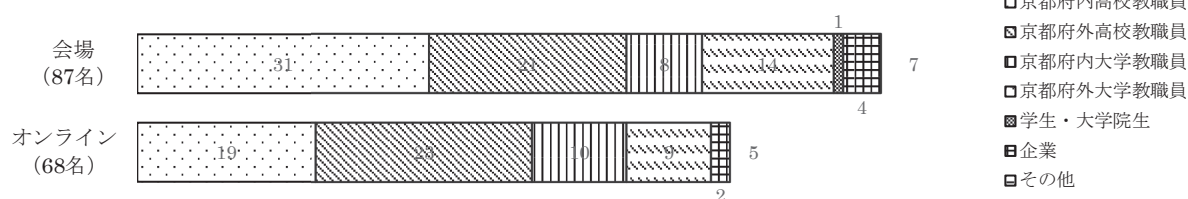
第 20 回高大連携教育フォーラム 参加者アンケート結果

(1) 参加者数及び内訳

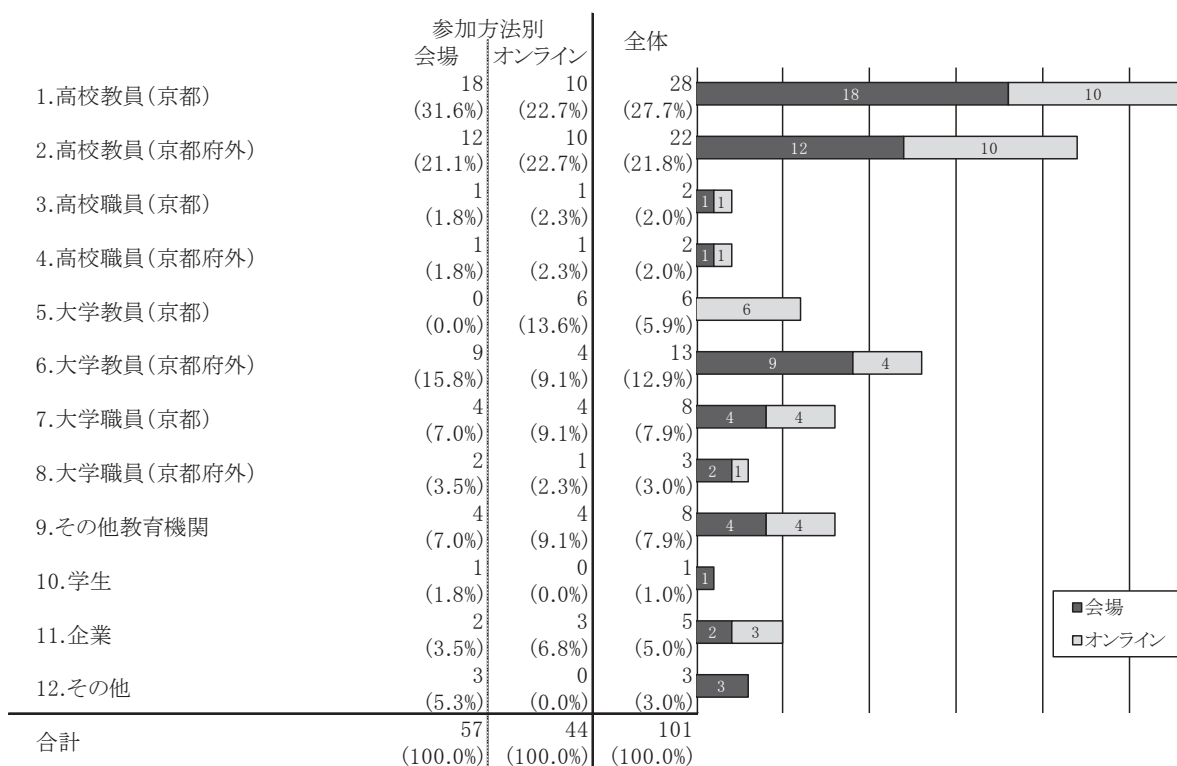


※第18回・第19回はオンライン開催、第20回はハイブリッド開催

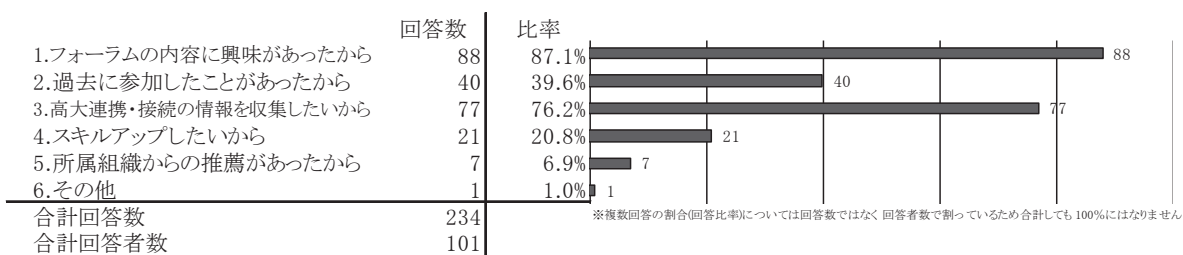
◆第20回参加方法別



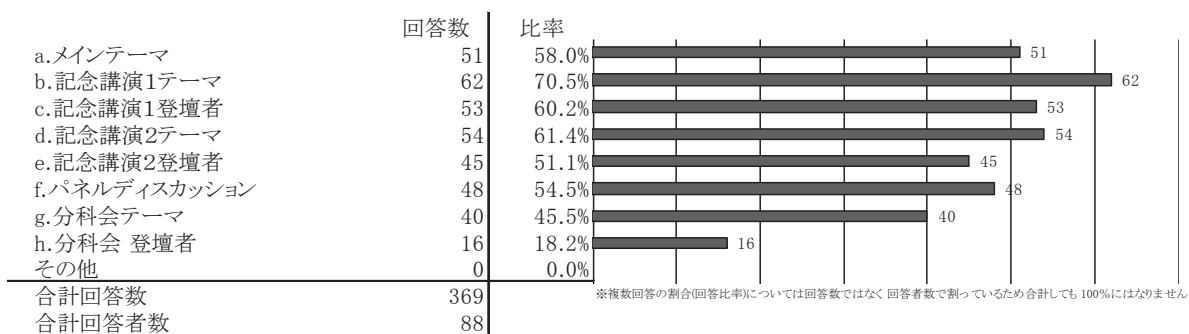
(2) 回答数及び内訳



(3) 参加理由（複数回答可）



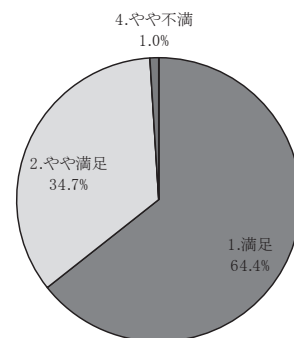
(4) 興味があった内容の内訳（複数回答可）



(5) 満足度

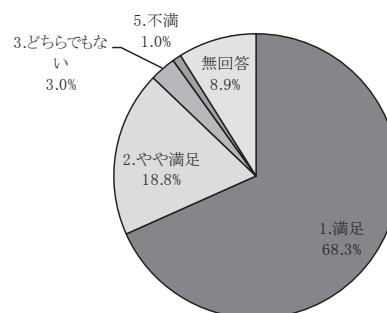
◆フォーラム全体

	参加方法別		全体
	会場	オンライン	
1.満足	43 (75.4%)	22 (50.0%)	65 (64.4%)
2.やや満足	13 (22.8%)	22 (50.0%)	35 (34.7%)
3.どちらでもない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
4.やや不満	1 (1.8%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)
5.不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	57 (100.0%)	44 (100.0%)	101 (100.0%)



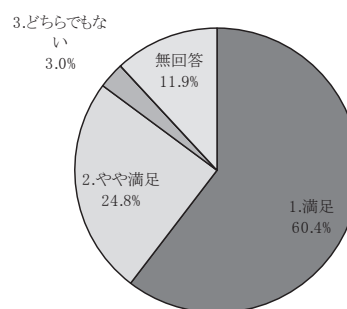
◆記念講演 1

	参加方法別		全体
	会場	オンライン	
1.満足	47 (82.5%)	22 (50.0%)	69 (68.3%)
2.やや満足	5 (8.8%)	14 (31.8%)	19 (18.8%)
3.どちらでもない	2 (3.5%)	1 (2.3%)	3 (3.0%)
4.やや不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5.不満	0 (0.0%)	1 (2.3%)	1 (1.0%)
無回答	3 (5.3%)	6 (13.6%)	9 (8.9%)
合計	57 (100.0%)	44 (100.0%)	101 (100.0%)



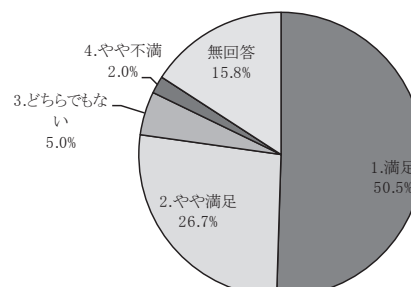
◆記念講演 2

	参加方法別		全体
	会場	オンライン	
1.満足	39 (68.4%)	22 (50.0%)	61 (60.4%)
2.やや満足	13 (22.8%)	12 (27.3%)	25 (24.8%)
3.どちらでもない	2 (3.5%)	1 (2.3%)	3 (3.0%)
4.やや不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5.不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	3 (5.3%)	9 (20.5%)	12 (11.9%)
合計	57 (100.0%)	44 (100.0%)	101 (100.0%)



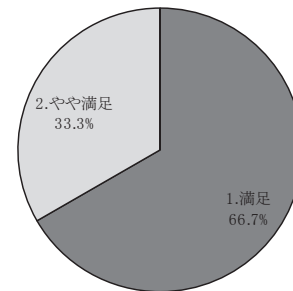
◆パネルディスカッション

	参加方法別		全体
	会場	オンライン	
1.満足	37 (64.9%)	14 (31.8%)	51 (50.5%)
2.やや満足	13 (22.8%)	14 (31.8%)	27 (26.7%)
3.どちらでもない	2 (3.5%)	3 (6.8%)	5 (5.0%)
4.やや不満	2 (3.5%)	0 (0.0%)	2 (2.0%)
5.不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	3 (5.3%)	13 (29.5%)	16 (15.8%)
合計	57 (100.0%)	44 (100.0%)	101 (100.0%)



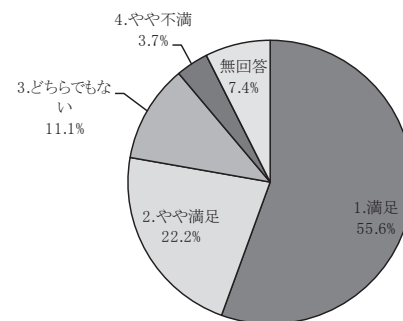
◆第1分科会

	参加方法別		全体
	会場	オンライン	
1.満足	3 (75.0%)	3 (60.0%)	6 (66.7%)
2.やや満足	1 (25.0%)	2 (40.0%)	3 (33.3%)
3.どちらでもない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
4.やや不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5.不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	4 (100.0%)	5 (100.0%)	9 (100.0%)



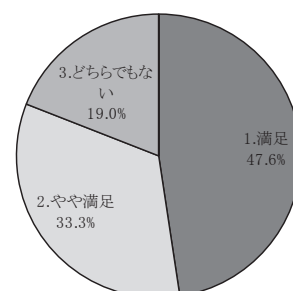
◆第2分科会

	参加方法別		全体
	会場	オンライン	
1.満足	11 (68.8%)	4 (36.4%)	15 (55.6%)
2.やや満足	2 (12.5%)	4 (36.4%)	6 (22.2%)
3.どちらでもない	2 (12.5%)	1 (9.1%)	3 (11.1%)
4.やや不満	1 (6.3%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)
5.不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)	2 (18.2%)	2 (7.4%)
合計	16 (100.0%)	11 (100.0%)	27 (100.0%)



◆第3分科会

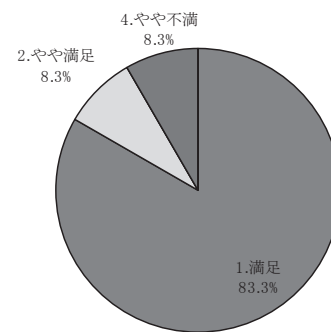
	参加方法別		全体
	会場	オンライン	
1.満足	6 (60.0%)	4 (36.4%)	10 (47.6%)
2.やや満足	2 (20.0%)	5 (45.5%)	7 (33.3%)
3.どちらでもない	2 (20.0%)	2 (18.2%)	4 (19.0%)
4.やや不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5.不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)	11 (100.0%)	21 (100.0%)



◆特別分科会①【高大接続】

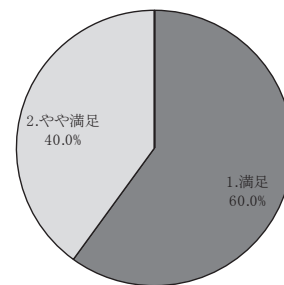
	参加方法別		全体
	会場	オンライン	
1.満足	10 (83.3%)	0 (-)	10 (83.3%)
2.やや満足	1 (8.3%)	0 (-)	1 (8.3%)
3.どちらでもない	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
4.やや不満	1 (8.3%)	0 (-)	1 (8.3%)
5.不満	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
合計	12 (100.0%)	0 (-)	12 (100.0%)

※会場参加のみの実施



◆特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

	参加方法別		全体
	会場	オンライン	
1.満足	1 (50.0%)	2 (60.7%)	3 (60.0%)
2.やや満足	1 (50.0%)	1 (30.3%)	2 (40.0%)
3.どちらでもない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
4.やや不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5.不満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	2 (100.0%)	3 (100.0%)	5 (100.0%)



(6) ご感想やご希望、その他ご意見（抜粋）

フォーラム全体

- ・ 高大接続について、複数の現場の実践を踏まえた報告を聴くことができてよかった。それぞれの良し悪しについても今までの個人での情報収集より踏み込んだ話が聴けたと感じる。
- ・ 今後の教育活動に向けて大変モチベーションが上がった。
- ・ 府、市、私学を含め、京都の現状と課題が理解できました。それに留まらず、荒瀬先生、溝上先生のご講演やコメント、杉岡先生のファシリテートなどにより、全国や世界全体の中での京都を意識した、立体的な学びがありました。
- ・ 今回のフォーラムを通して高大連携の成果と課題、これから目指すべき姿を少し明確にすることができた。
- ・ 全体として教育行政と現場での取り組みとの「行き違い」や将来の可能性など、多様な論点を見出すことができた。
- ・ 学びが深かった。いろいろなワードが散りばめられており、さらに深めたいと思った。
- ・ さまざまな事情がありつつ、前進する姿勢に刺激をいただきました。
- ・ 子どもたちが自分らしく生きるために、どのような条件整備が必要か、大変勉強になった。
- ・ 日頃の取り組みを客観的に見つめ直す機会になった。

記念講演 1

- ・ 求められる観点について改めて整理できた。
- ・ 学習指導要領と令和答申の主旨が良く理解できた。特になぜキャリア教育がその実現のために必要なのか、中央教育審議会での協議の文脈から興味深く聞かせてもらいました。
- ・ 自律した学習者に育てるべきだという言葉が重かったです。
- ・ 令和の日本型学校教育の答申について、基本的な内容は理解していたつもりでしたが、荒瀬先生の力強いメッセージに、たくさんの刺激をいただきました。
- ・ キャリア教育、キャリア発達、個別最適な学び、自己調整能力、自己肯定感などご説明される中で、教育に期待されることの本質的な意味を教えてくださいました。
- ・ 令和答申について分かりやすく解説していただいた。「小さな大人」など、日頃の学生への向き合い方を考えさせられた。
- ・ 中央教育審議会の答申をしっかりと読み込んだことがなく、勉強になったこと、またこれからの討論の土台となる提起を多くいただいた。

記念講演 2

- ・ データの面でも、実感の面でもよく分かる、すぐに生徒たちに還元したい内容だった。
- ・ どのような能力が社会に必要かよく分かった。
- ・ 経年的な研究の成果をデータとして示していただき、高校での学びをいかに進めていくべきか、またすべきでないかについて新たな知見を得ることができました。経験的、直感的にそうではないかと感じて来たこと、実証的に示していただき、明日から使える考えを示唆していただきました。
- ・ 高校時代までの教育が非常に大切である、ということだと思いました。そのことを科学的にデータで説明されたのが、難しくもあり興味深くもあり、あっという間の講演でした。
- ・ 資質・能力の育成を時空間の拡張と結び付けて考えるなど、新たな視点をいただきました。さまざまな情報提供も役立てたいと思います。
- ・ データに基づいていて、説得力のあるお話だった。高校教員としては大学進学者のみだったので、もっと幅広い層のデータを知りたいです。
- ・ 広い視野と豊富な知見からなる話が聞けました。

パネルディスカッション

- ・府立、市立、私立の高大連携のそれぞれのアプローチを聞くことができどのように考えているのかよく分かった。専門家の視点からの指摘もあり、これからの高校教育の在り方を問い直す良い機会となった。
- ・公立、市立、私立それぞれの取り組みを知ることができた。登壇者の話は分かりやすく、なるほどと思うことばかりでした。
- ・三校の取り組みはいずれも興味深く、高校における改革が相当進んでいることに驚いた。「総合的な探究の時間」について、大学も知らないといけなと感じた。荒瀬先生の選択の壁や単位数を減らすアイデアに共感できた。
- ・多様な立場からの意見や思い、考えを、登壇者の言葉で話を聞く機会となった。
- ・三者三様のご発表でしたが、荒瀬先生もおっしゃっていたとおり、これぞ京都ならではのと思いました。大学も含めて、高大の連携に向けて、対話を重ね続けていくことは本当に大切だと思いました。
- ・京都からの発信という提言と本音も窺える内容で良かったです。
- ・これからの教育活動に向けて、ヒントになるお話がたくさんあった。

第1分科会

- ・ただの実践報告に終始せず、継続・発展の意義と工夫について、大学側・高校側双方の視点からご報告いただけた点。お二方とも、率直なお話しぶりで、この実践について良く報告しようという飾り気を感じさせなかった点が非常によかった。大変参考になった。
- ・西舞鶴高校と舞鶴水産実験所の連携について聞き、実体験の大切さ、探究の進め方、他教科との連携など、学ぶことが多くあった。
- ・同じ地域の高校の実践を聞くことができ刺激を受けた。管理職や校務担当者が変わる中、学校として揺らがない大事に継続してきた高大連携には価値があるなと感じた。

第2分科会

- ・学生による発表が良かった。特に高校時代の探究に対してのコメントが参考になりました。
- ・受験のある学校の探究活動について初めて知ることができた。またデータだけでなく生の学生の声を聞くことができた。
- ・発表した大学生の中に「探究が嫌いだった」という学生がいたことで、探究の意味を考えるよいきっかけをいただけたように思います。
- ・探究がドはまりした生徒とそうでもない生徒の両方のお話が聞けて楽しかったです。

第3分科会

- ・問いの立て方について一定の理解を得られた。
- ・探究の課題内容や運営の参考になった。
- ・問い重ねのイメージを持てました。さらに知りたいと思いました。
- ・新しい知識が得られて満足。

特別分科会①【高大接続】

- ・高大の問題が、社会全体の問題として、捉えるかを考えさせられました。
- ・多くを勉強させていただきました。
- ・諸用があり、少し様子を見させていただいただけになりましたが、資料の内容だけでも満足できるものでした。

特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

- ・実際に体験した高校生、大学生の声が聞けた。
- ・大学生・高校生それぞれが、チーム内で起きていたことやその意味を、客観的かつ冷静に分析しながら振り返っておられるのが印象的でした。また、成果報告・リフレクションの場の進行方法も、大変勉強になりました。
- ・企画概要から見えない苦労や達成感などが感じられた。
- ・生徒・学生の皆さんの取り組みがよく分かった。

2022年度 京都高大連携研究協議会 役員・委員一覧

■役員会

会長	黒坂光	(大学コンソーシアム京都 理事長/京都産業大学 学長)
副会長	前川明範	(京都府教育委員会 教育長)
副会長	稲田新吾	(京都市教育委員会 教育長)
	佐々井宏平	(京都府私立中学高等学校連合会 会長/京都先端科学大学附属中学校高等学校 校長)
	増田恒	(京都府立高等学校長会 会長/京都府立桃山高等学校 校長)
	本谷一	(京都市立高等学校長会 会長/京都市立日吉ヶ丘高等学校 校長)
	初田泰宏	(京都府私立中学高等学校連合会 副会長/京都文教中学校・高等学校 校長)
	鈴鹿且久	(京都商工会議所 常議員/株式会社聖護院八ツ橋總本店 代表取締役社長)
	森井秀樹	(京都文教短期大学 学長)

■運営委員会

委員長	林信康	(京都府私立中学高等学校連合会 理事/京都女子中学校・高等学校 校長)
	水口博史	(京都府教育庁 指導部 高校教育課 首席総括指導主事)
	小野恭裕	(京都市教育委員会 指導部 学校指導課 首席指導主事)
	牛田豊嗣	(高等学校コンソーシアム京都 事務局長)
	福家崇明	(京都府私立中学高等学校連合会 理事/京都産業大学附属中学校・高等学校 校長)
	長谷川豊	(大学コンソーシアム京都 高大連携推進室長/京都府立大学 公共政策学部 准教授)
	廣川智貴	(大学コンソーシアム京都 教育開発事業部長/大谷大学 教育推進室 副室長)
	伊勢戸康	(大学コンソーシアム京都 事務局長)

■事務局

	井上実	(京都府教育庁 指導部 高校教育課 指導主事)
	加藤健	(京都市教育委員会 指導部 学校指導課 指導主事)
	滝本順之	(京都市教育委員会 指導部 学校指導課 指導主事)
	室保次	(京都府私立中学高等学校連合会 事務局長)
	荻野達也	(京都商工会議所 事務局長)
	公益財団法人大学コンソーシアム京都 教育開発事業部	

※2022年度の京都高大連携研究協議会事業の企画・検討は、以下に付託する。

◇高大連携推進室

室長	長谷川豊	(京都府立大学 公共政策学部 准教授)
	乾明紀	(京都橘大学 経済学部 准教授)
	滋野哲秀	(元 龍谷大学 文学部 教授)
	杉岡秀紀	(福知山公立大学 地域経営学部 准教授)
	細尾萌子	(立命館大学 文学部 准教授)
	山本以和子	(京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授)